

学校関係者評価委員会報告書

2023年7月10日

旭川情報ビジネス専門学校

2023年度 学校関係者評価委員会

1. 開催日時

2023年7月10日(月) 12時00分～13時00分、

2. 旭川情報ビジネス専門学校 2階 校長室

3. 出席者

<学校関係者評価委員>

本田 和行 委員 (株式会社富貴堂ユーザック 代表取締役社長)

水野 峻 委員 (株式会社UZUZ 旭川事業部長)

<事務局>

校長 難波 繁之

4. 議事

- 1) 開会
- 2) 校長挨拶
- 3) 委員の紹介
- 4) 学校関係者評価委員委嘱
- 5) 経緯説明、意見交換
- 6) 閉会

2022年度旭川情報ビジネス専門学校関係者評価

1. 学校の教育目標

<教育目標>情報処理のスペシャリストとして即戦力となりうる人材を育成する。
豊かな人間性と知的な教養ある人材を育成する。

<基本方針>具体的な方策

1. 必要な専門知識技術の習得を徹底させ、情報化社会を推進する実力をみにつけさせる。
2. 習得した技術を生かし、社会の発展・充実に貢献できるよう努める

2. 本年度の重点課題(目標及び計画)

1. 就職率100%
2. 地域社会との密接な連携をし、積極的に社会貢献に努める

3. 評価項目の達成及び取り組み状況集計結果 (適切:4、ほぼ適切:3、やや適切:2、不適切:1とし、平均値を記載)

(1) 建学の趣旨と教育の方針(教育理念・目標)

評価項目	自己評価	関係者評価
・学校の建学の趣旨と教育の方針は定められている。	3.7	3.5
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いている。	3.0	3.0
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されている。	3.7	3.0

課題や改善点

- ・情報処理のスペシャリストを育成するという点について一定の評価ができると思いますが、昨今の科学技術の進歩など社会情勢が大きく変容していく中、地域産業界をはじめとした各企業の要請に応え続けるためには、より一層貴校の魅力向上を図り、存在価値を高めるための検討が必要であると思います。そのためには、地域産業界との連携(IT企業を含めた各企業が現在どのような仕事を行っているかを知る)事業が必要であると考えます。これには学生のみではなく、教員が連携事業の講師を務めるなど積極的な関りも必要であると感じます。また地域課題を解決しながら地域ニーズに対応した授業の推進が可能であれば、地域貢献という面からも貴校の魅力向上に資することができると思います。単なる会社訪問に終始するインターンシップではなく地域産業界との関りを深める内容、小中学校と連携したプログラミング教育の協力も考えられると思います。教育目標は学生・保護者等に周知されているかについては、SNSなどを活用し保護者を対象に積極的に情報発信するアプリなど用意してどうでしょうか。ホームページも良いですがスマートフォンなどで身近に確認できる手段がよいと考えます。イベント、コンテスト、など学生が活動している姿が見えるツールがあればと感じます。
- ・自律型人材の育成強化、社会人基礎力の向上。
- ・入学時に目的意識の明確化。
- ・人的資源が不足しており、将来的展望をふまえた将来構想を抱くのが難しい。
- ・人的資源を増やす。

(2) 学校経営方針(学校運営)

評価項目	自己評価	関係者評価
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されている	3.7	3.5
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能している。	3.0	2.5
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されている。	3.3	3.0
・教育活動等に関する情報公開が適切になされている。	2.7	2.5

課題や改善点

- ・外部に対する教育活動の情報公開が行われているとはいえない。
- ・Webなどを積極的に利用し教育活動の情報公開を進める教育活動。

(3) 教育活動(各学年指導計画)

評価項目	自己評価	関係者評価
・カリキュラム(実習等を含む)は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されている。	3.7	3.5
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されている。	3.7	3.5
・教育の方針(人材育成)達成に向けた授業担当教員を確保している。	2.0	2.5
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われている。	2.3	2.5

課題や改善点

- ・資格、就職、キャンパスライフなどもっと活躍している学生を掲載して欲しいと感じます。また、入学検討者の保護者の方向け、高校生向け、高校教員向け、求人企業向けに貴校の学生に対する方針等をご案内情報として発信して欲しい。また教員の名前だけではなく特徴(最先端の知見を有する・・・など)の紹介、貴校の情報公開もホームページにあった方がよいと感じます。
 - ・慢性的な教員不足が改善されていない
 - ・給与等の見直しにより専門性の高い教員の確保
 - ・外部リソースの活用
 - ・クラス担任制などの運用方法の見直し
 - ・現在ITに必要な授業が展開されておりますが、IT企業で即戦力になる授業はそこまで多くないので、企業に入ってからすぐ活躍出来る資格や授業内容が多くなれば、より就職率も向上することが可能と考えております。
 - ・圧倒的に人員が不足している。
- 教員の知識・技能の習得等資質向上は行われているとはいえない。
- ・人員の補充。
 - ・研修等の充実。

(4) 教育成果

評価項目	自己評価	関係者評価
・就職率の向上が図られている。	3.3	4.0
・国家試験合格率の向上が図られている。	3.0	3.0
・退学率の低減が図られている。	3.0	3.5

・卒業後の生徒のフォローアップなされている。	3.0	3.0
------------------------	-----	-----

課題や改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・就職先がIT 業界以外の割合が多いのは淋しい。卒業後にどのような仕事を行い活躍しているかの情報発信があっても良いと感じます。入学検討者の保護者の方、高校生、高校教員に対し生徒の就職後のキャリアが見えて安心されると思います。 ・項目3:この先も発達障害の学生の増加が考えられるので、毎年問題になる可能性が高い ・教員の確保や専門のカウンセラー等の導入が望ましい ・就職率 100%を継続維持するための学生指導と保護者の理解 ・保護者懇談会や必要に応じた三者面談と活用し、学生と保護者が共通理解できる機会を今後も継続する。 ・10 年以上前の卒業生が転職に向けて相談にくるなど、相談がしやすい環境が構築できている。 ・就職率は向上しているが、本来前半に就職活動するべき時期が後半に集中していた。 ・IT パスポートの合格率が上がらなかった。 ・1 年生の退学率が昨年以上昇した。 ・卒後のフォローアップはあまりなされていない。

(5) 学生支援

評価項目	自己評価	関係者評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されている。	3.7	3.5
・学生相談に関する体制は整備されている。	3.7	3.5
・学生への経済的な支援体制は整備されている。	3.7	3.5
・学生の健康管理を担う体制はある。	3.3	3.5
・学生への生活環境への支援は行われている。	3.3	4.0
・保護者と適切に連携している。	4.0	3.5
・卒業生への支援体制はある。	3.3	3.0

課題や改善点

<p>・学生生活を少しでも良くするための施策(ウェルビーイング)についてより必要かと思えます。自分の生きる道だけでなく、自分の住む街や学生の友達などどのようにすれば「良い状態」でいられるのかについて気付けることを目的とするようなこと。これは、社会人として職場で働く際にとっても必要な「人間力」となります。学生生活をしっかり楽しむ多彩なイベントが催されていると思いますが、学校祭、各種レクリエーションなど自分の学校のみ対象とするのではなく、地域との関りを通して、仲間とひとつのことを成し遂げる達成感なども良いと考えます。心と体の健康を考え、例えば民間企業も行っているスポーツクラブと契約なども良いかもしれません。</p> <p>※貴校の状況が判らない中、勝手な意見ばかりで申し訳ありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードなどの設備改修を検討する。 ・次年度の2年生(47名予定)を対象とした一斉授業ができるPC教室の整備。PC や机等を必要台数確保(必要に応じて購入)。

(6) 教育環境

評価項目	自己評価	関係者評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されている。	3.3	3.0
・学内外の実施施設等について十分な教育体制を整備している。	3.7	4.0

・防災に対する体制は整備されている。	3.7	3.5
--------------------	-----	-----

課題や改善点

--

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	自己評価	関係者評価
・学生募集活動は適正に行われている。	4.0	3.5
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられている。	4.0	4.0
・学費等納入金は妥当なものとなっている。	4.0	3.5

課題や改善点

・「教育目標」の実践に向けて入試等の選抜を検討する。

(8) 財務

評価項目	自己評価	関係者評価
・中期的に学校の財政基盤は安定している。	3.0	3.0
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものである。	4.0	3.5
・財務について会計監査が適正に行われている。	4.0	4.0
・財務時報公開の体制整備はできている。	3.3	4.0

課題や改善点

・学校単体で財務諸表を公開するのであればよいが、連結で出すのは本校にとってイメージを損ないかねない。
--

(9) 地域社会貢献

評価項目	自己評価	関係者評価
・ボランティア活動を通じ、学生・教員が地域社会貢献を行っている。	2.7	3.0

課題や改善点

・コロナ問題もあり、ここ3年ほど中止している。また、近隣エリアのボランティア清掃を実施していたが、ほとんどゴミがない。 ・別な内容を検討する。 ・講師派遣や体験の受け入れにより、IT 分野認知の一助を担っている。
--

(10) 法令等の遵守

評価項目	自己評価	関係者評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされている。	3.7	4.0
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられている。	4.0	4.0
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っている。	3.7	4.0
・学校自己評価結果を公開している。	3.7	4.0

課題や改善点

--

以上